年間授業計画 新様式例

水産
 高等学校
 令和7年度
 教科

 教科: 水產
 科目: 船舶運用(船舶系)

 対象学年組:第2学年 B 組
 教科 科目 船舶運用(船舶系)

単位数: 2 単位

教科担当者:網谷宗彦 使用教科書: (船舶運用

教科 水産

科目 船舶運用(船舶系) の目標:

	【知識及び技術】 船舶の安全かつ適切な運用について体 統的に理解しているとともに、関連す 身に付けるようにする。		船舶の安全かつ適切な過	*生産に従事する者と	【学びに向: 船舶の安全かつ適切 用を目指して自ら学 業の振興や社会貢献 り組む態度を養う。	な運用び、水	や漁業産業や	生産へ 海洋関	連産
	単元の具体的な指導目標	:	指導項目・内容	評価規	見準	知	思	態	配当時数
ſ	1 船舶の概要	1 船舶の	り概要	【知識・技術】					

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			知思態配			
	1 船舶の概要	1 船舶の概要	【知識・技術】				時数		
	【知識及び技術】 船舶に関する基本的な内容につい て理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漁船をはじめとした船舶の意義や 種類、船体構造に関する配類を受 見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 船舶の種類や船体構造にでいて自 ら学び、船舶の安全な運航の実現 を目指して主体的かつ協働的に取 り組む。	(1)船舶の意義 船舶の意義 船舶の意義 (2)漁船の意義 漁船の沿車・定義、漁船の従 業制限 領別の指導・定義、漁船の従 業制限 間と船体構造 船質による分類 指進方法による分類 船体各部かる条 各部の名称 各部の名称 主要寸法 トン数	船舶に関する基本的な内容について理解している。 【思考・判断・表現】 漁船をはじめとした船舶の意義や種類、船体 構造に関する課題を発見し、合理的かつ創造 的に解決しまとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 船舶の種類や船体構造について自ら学び、船舶の安全な運航の実現を目指して主体的かつ 協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	12		
1 学	定期考査			0	0		1		
期	2 操船の基本 【知識及び技術】 操船の基本について理解するとと もに、関連する技術を身に付け る。 【思考力、判断力、表現力等】 操船の基本に関する課題を発見 し、船舶の安全な運航に着目して 合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 操船について自ら学び、船舶の安 全な運航に主体的かつ協働的に取 り組む。	2 操船の基本 (1)舵の作用 (2) スクリュウーブロベラの作用 (3) 舵とスクリュウーブロベラの 総合作用 (4) 操舵心得 (5) 速力 (6) 権力 (7) 旋回圏 (8) 船体の安定とトリム	【知識・技術】 操船の基本について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 操船の基本に関する課題を発見し、船舶の安全な運航に着目して合理的かつ創造的に解決 となび更近にでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 操船について自ら学び、船舶の安全な運航に 主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	15		
	定期考査			0	0		1		
2	3 船舶の設備 【知識及び技術】 船舶の設備について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 し、使用上の注意、日常の保守な と安全な運航・管理に着目して会 理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 般舶の設備について重航・管理、学の 集舶の設備について重航・企業生産 の実現を目指して主体的かつ協働 的に取り組む。	3 船舶の設備 (1) 操船・機関・通信設備 ・ 機能・機能・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・	知識・技術 船舶の設備について理解している。 【思考・判断・表現 出恵・判断・表現 注意。日常の保守など安全な運航・管理に着 目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 船舶の設備について自ら学び、安全かつ適切 な船舶運航と漁業生産の実現を目指して主体 的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	13		
学期	定期考査			0	0		1		
	4 船務 【知識及び技術】 服務について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 船務に関する課題を発見し、船舶 を安全かつ適切定施要順に着目して 合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 般務について自ら学指して主体的かつ責任感と倫理観をもって主体 的かつ態働的に取り組む。	4 船務 (1) 乗組員の編成と職務、当直勤 務、航海医苗 (2) 船体の整備 塗装、塗料の種類、塗装法、 船体各部の係手入れ。 (3) ドックと検査 入栗の目的、ドックの種類、 及び注意、出栗準備、船舶検 査 (4) 通信 国際信号所、信号の方法、 GMSS、海上特殊無線技士、 AIS、 (5) 保安の確保	【知識・技術】 船筋について理解している。 【思考・判断・表現】 船務に関する課題を発見し、船舶を安全かつ 適切に運用するための船務及びその実施要領 に着目して合理的かつ創造的に解決しようと している。 【主体的に学習に取り組む態度】 船務について自ら学び、船舶の安全な運航の 実現を目指して主体的かつ責任感と倫理観を もって主体的かつ協働的に取り組もうとして いる。	0	0	0	11		
	定期考査	_		0	0		1		
	5 船内の安全と衛生 【知識及び技術】 貼内の安全と衛生について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】	5 船内の安全と衛生 (1) 災害防止 船内労働の基本的注意事項、 保護具と検知器具、船内作業 上の注意、火災 (2) 教急処置 傷害や疾病に対する応急手	【知識・技術】 船内の安全と衛生について理解するととも に、関連する技術を身に付けている。 【指導・判断】 船内の安全と衛生に関する課題を発見し、船 内環境と災害防止に着目して合理的かつ創造						

学	堀内四女至と衛生に関する課題を発見し、熱内環境と災害防止に着 目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 船内の安全と衛生について自ら学 び、船内の安全と災害防止を目指 して主体的かつ協働的に取り組 む。	当、双研以直 (3 船内消毒 船内消毒の種類, ガス消毒実 施上の注意、船舶の衛生検査	田い一所式しようとしくいつ。 【主体的に学習に取り組む態度】 総内の安全と衛生について自ら学び、船内の 安全と災害防止を目指して主体的かつ協働的 に取り組もうとしている。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
							合計
							70